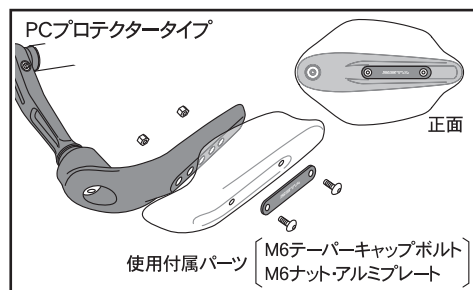
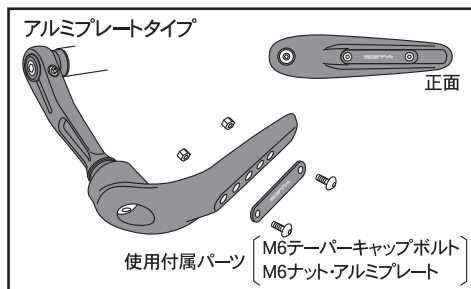
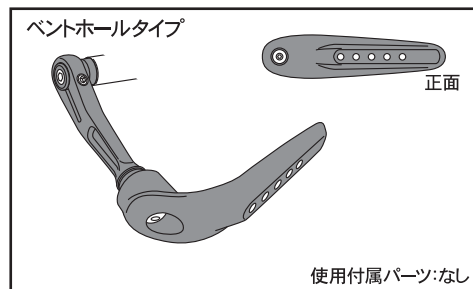
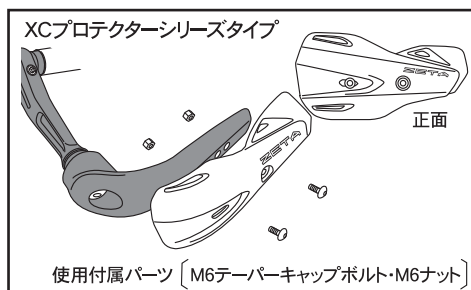


6 アルミプレート/プロテクターの取付け

付属の M6×15mm テーパーキャップボルト・M6 ナットを利用し、お好みで様々なデザインに変更できます。また、防風効果を高めるプロテクターを取付けることができます。



※ZS72-2100(ユニバーサル PC キット)をご購入の場合は標準装備。
※ZS72-2000(ユニバーサル)をご購入の方は ZS72-2900 (オプション PC プロテクター)を別途ご購入ください。



※様々なデザインのプロテクターがご利用できます。
※ZETA XCシリーズプロテクターを別途ご購入ください。
※ZETA XCフラッシュャープロテクター、ZETA スクードプロテクターは取付けできません。

4.リプレースメント

リプレースメントパーツをご用意しています。破損又は機能低下した部位があれば交換してください。パーツは左右で共通ですので、片側のみの交換も可能です。

- ・リプレースメント ガードキット…ZS72-2910 (左右共通 1 セット)
- ・リプレースメント アームキット…ZS72-2911 (左右共通 1 セット)
- ・リプレースメント バーエンドキット ユニバーサル…ZE72-2920 (左右共通 1 セット)

株式会社 ダートフリーク

〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30

ZETA

ZS72-002J

取扱説明書

ZETA ソニックハンドガード

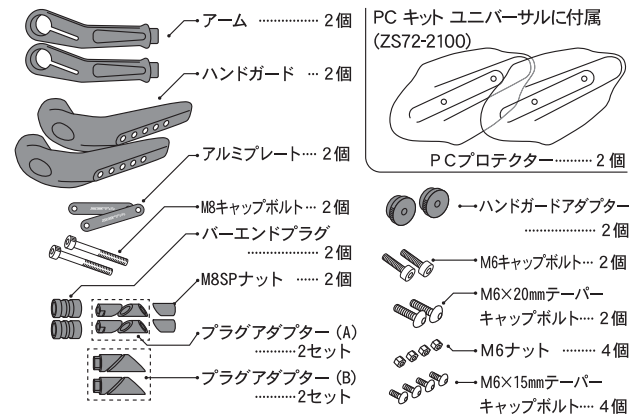
- ・ユニバーサル PCキット
- ・ユニバーサル

この度は ZETA 商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉使用できない場合があります。
- ・製品に対し、加工・改造を行わないでください。事故や破損の原因になります。
- ・定期的にボルトの緩みを確認して下さい。
※振動や衝撃により、取付けが緩むことがあります。

2.セット内容



3.取付け方法

1 グリップ、スロットルチューブの確認

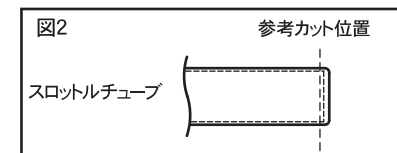
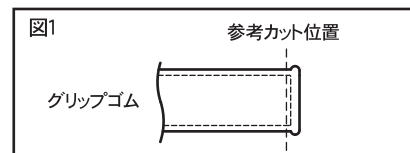
グリップ、スロットルチューブのエンドの形状により必要な作業が異なります。ご自身のバイクのグリップ、スロットルチューブをご確認の上、以下の作業を行ってください。

グリップとスロットルチューブのエンドがオープンタイプの場合

ハンドルに純正バーエンド、インナーウエイト、ハンドガードプロテクターが取付いている場合は取り外します。
※取外しは各車両のサービスマニュアル又はサービス情報を参照してください。

グリップとスロットルチューブのエンドがクローズドタイプの場合

- 1) 左右のグリップゴムを図1を参考にハンドルが貫通するようにカットします。もしくは、オープンエンドタイプのグリップに交換してください。
- 2) スロットルチューブのエンド部を図2を参考に加工します。もしくは、オープンエンドタイプのスロットルチューブに交換してください。



2 プラグアダプターの選択

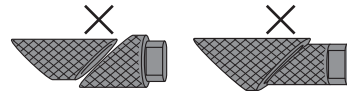
下の表を参考に、ハンドルバーの内径に合わせ、A か B のプラグアダプターを選択します。

	プラグアダプターの形状	適応するハンドルバーの内径	備考
A		13.5mm～14.5mm	主にアルミ製ハンドル用
B		17.5mm～18.5mm	主にスチール製ハンドル用

△【ご注意】

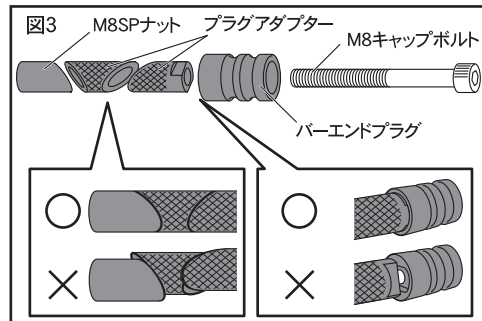
- ・適応径以外の取付けは脱落の恐れがあり大変危険です。
- ・プラグアダプターは2つの分離したパーツで構成されています。AとBは太さが異なりますが、色や材質は全く同じです。太さの違うア

ダプター同士を組み合わせないようにご注意ください。

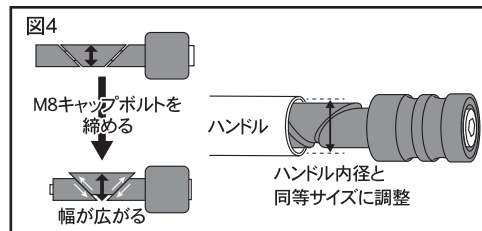


3 バーエンドプラグの仮組み

- 1) バーエンドプラグと2で選択したプラグアダプター、付属のM8キャップボルトとM8 SP ナットを利用し、プラグアダプターを仮組みします(図3)。
 - ※M8 SP ナットとプラグアダプターの斜面同士が平行になるようにしてください。
 - ※バーエンドプラグ内側の凹状の溝に、外側プラグアダプターの凸状部分がはまっていることを確認してください。



- 2) M8 キャップボルトを締め込むと、M8 SP ナットとプラグアダプターの斜面部分にそって部品がスライドし、幅が広がります。仮組みした状態で、ハンドルに半分ほど差し込みつつ、ハンドル内径と同等サイズに微調整してください(図4)。ハンドル内径に擦るぐらい又は少し叩いて入る程度がベストです。

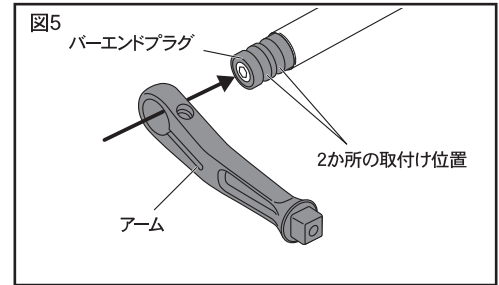


△【ご注意】

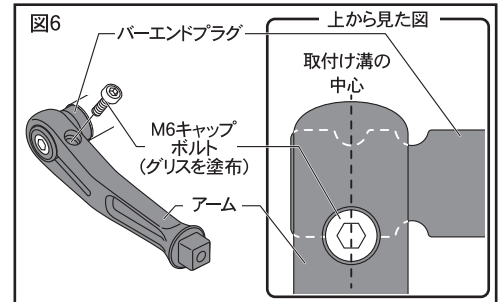
M8 SP ナットとプラグアダプター同士が接する斜面部分が平行でないまま、ハンドル内部で後に本締めをしてしまうと、使用中に締め込みが緩み、バーエンドプラグがハンドルから外れてしまう危険性があります。

4 アームの取付けとバーエンドプラグの本締め

- 1) アームの取付け位置はバーエンドプラグに2カ所あります(図5)。スロットルグリップに干渉しない位置、レバーを握った際、アームとレバーエンドが干渉しない位置を選択してください。
 - ※どちらの位置でも干渉してしまう場合、レバー位置の変更、スロットルチューブの位置変更等の工夫が必要です。



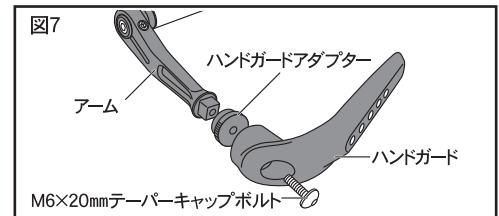
- 2) 取付け位置、角度を決定後、アームをバーエンドプラグの溝中心に合わせセットし付属のM6キャップボルトに少量のグリスを塗布して差し込み、バーエンドプラグにアームがしっかりと固定できるまでトルクをかけ、本締めします(図6)。
 - ※M6 キャップボルトがバーエンドプラグに干渉していると傷を付けてしまう原因となります。
 - ※固定には強いトルクを必要とします。トルクをしっかりとけることができる六角棒レンチをご利用ください。



- 3) 取付けたアームを持ち、バーエンドプラグの本締めをします。最後に各部の固定力を確認し、必要であれば増し締めしてください。
 - ※空回りしたり、しっかりと固定できない場合はバーエンドプラグをハンドルから引き抜き、プラグアダプターのねじれ確認・内径合わせの再調整をしてください。

5 ハンドガード本体の取付け

- 1) 付属の M6×20 mm テーパーキャップボルトを利用し、アームにハンドガードアダプターとハンドガードを仮組みします(図7)。
- 2) ハンドガードはセンターポジションから1段階5度ずつ、上4段階、下4段階、計9段階の位置調節が可能です(図8)。好みの角度に調整し、本締めしてください。



- 3) 取付け後、スロットルグリップが正常に動作するか確認し、レバーを最大に握りこみアームへの干渉がないか確認してください。
- 4) ハンドルを切り、タンク・スクリーン等に干渉しないように各部を調整してください。

